

6

再セットアップ

本製品に同梱されているカスタム・リカバリ CD またはリカバリ CD を使って、システムやアプリケーションをご購入時の状態に戻すことができます。本章では、カスタム・リカバリ CD およびリカバリ CD の使いかたについて説明します。

- 1 再セットアップとは 160
- 2 カスタム・リカバリ CD / リカバリ CD とは 161
- 3 標準システムを復元する 163
- 4 最小構成でシステムを復元する
(Windows 98) 169
- 5 アプリケーションを再インストールする
(Windows 98) 172

1 再セットアップとは

システムやアプリケーションをご購入時の状態にリカバリ（復元）することを再セットアップといいます。

● 再セットアップが必要なとき

次のようなときに、再セットアップしてください。

- Cドライブをフォーマットしてしまった
- ハードディスク内のシステムファイルを削除してしまった
- 電源を入れても、システム（Windows）が起動しない
- パソコンが正しく動作しない
- プレインストールされていたアプリケーションを削除したが、もう1度インストールしたい など

● 再セットアップする前に

「7章 困ったときは」に、いろいろなトラブル解決方法が書かれています。そちらをご覧くださいのうえ、解決できないときに再セットアップしてください。再セットアップすると、ハードディスク内に保存されていたデータは、すべて消えてしまいます。ご購入後に作成したファイルなど、必要なデータは、あらかじめフロッピーディスクなどに保存してください。また、ハードウェアなどの設定は、すべてご購入時の状態に戻ります。再セットアップ後も現在と同じ設定でパソコンを使いたい場合は、現在の設定を控えておいてください。

システムを復元するには、カスタム CD / リカバリ CD を使用します。

1 カスタム・リカバリ CD とは (Windows 98)

Windows 98 モデルには次のカスタム・リカバリ CD が同梱されています。

- Product Recovery CD-ROM
- アプリケーション & ドライバ CD-ROM

カスタム・リカバリ CD は、再セットアップのときに使用します。再セットアップには、次の方法があります。

● 標準システムを復元する

ご購入時の状態に戻します。プレインストールされているアプリケーションもすべて復元されます。

☞ 「本章 3 標準システムを復元する」

● 最小構成でシステムを復元する

Windows のみを復元します。デバイスドライバやアプリケーションなどはインストールされません。

☞ 「本章 4 最小構成でシステムを復元する」

● アプリケーションやドライバごとに再インストールする

プレインストールされているアプリケーションを再インストールできます。

☞ 「本章 5 アプリケーションを再インストールする」



メモ

・カスタム・リカバリ CD は絶対なくさないようにしてください。紛失した場合、再発行することはできません。

② リカバリ CD とは (Windows 2000 / NT)

Windows 2000 / NT モデルにはリカバリ CD (「Product Recovery CD-ROM」) が同梱されています。

リカバリ CD は、再セットアップのときに使用します。

Windows 2000 / NT モデルにはアプリケーション CD (「Application CD-ROM」) も同梱されています。アプリケーション CD には、本製品で用意されているアプリケーションが入っています。用意されているアプリケーションなどの一覧および概要、注意事項とインストール方法については、アプリケーション CD をセットし、表示される画面をご覧ください。



メモ

・リカバリ CD とアプリケーション CD は絶対なくさないようにしてください。紛失した場合、再発行することはできません。

3 標準システムを復元する

本製品にあらかじめインストールされている Windows やアプリケーションを復元し、ご購入時の状態に戻します。

1 準備

次のものを使用します。

- Product Recovery CD-ROM
- 取扱説明書（本書）
- 外付け CD-ROM ドライブ（型番：PA2671UJ または PA2673UJ）、またはマルチメディアポートリプリケータの CD-ROM ドライブ



メモ

・オプションの CD-ROM ドライブ PA2673UJ をお使いの場合は、PC カード側面のモード切替スイッチを [16Bit] 側に設定してください。

「標準システムインストール起動ディスク」を使用すると、使用できる CD-ROM ドライブの種類が増えます。



⇒ 詳細について ⇨ 《オンラインマニュアル》

⇒ オンラインマニュアルの起動 ⇨ 「2 章 4 オンラインマニュアルの起動」



添付の「標準システムインストール起動ディスク」をご使用ください。

② 操作手順

● Windows 98 モデルの場合



注意

・復元する前にハードディスクのフォーマットを行います。ハードディスクの内容はすべて削除されますので、必要なデータがある場合には、あらかじめフロッピーディスクなどに保存してください。ハードウェア構成を変更している場合は、本パソコンをご購入時の状態に戻してから、システムの復元を行なってください。

1 パソコンの電源を切る

2 パソコンをご購入時の状態に戻す

増設したハードディスクドライブや周辺機器などは取りはずしてください。

3 パソコンに CD-ROM ドライブを接続する

● PC カードタイプの CD-ROM ドライブを使う場合

パソコンの PC カードスロットに CD-ROM ドライブの PC カードを接続します。

標準システムインストール起動ディスクを使用すると、使用できる CD-ROM ドライブの種類が増えます。

☞ 詳細について ⇄ 《オンラインマニュアル》

● マルチメディアポートリプリケータの CD-ROM ドライブを使う場合

拡張コネクタにマルチメディアポートリプリケータを接続します。

4 「Product Recovery CD-ROM Disk 1」を外付け CD-ROM ドライブにセットする

5 キーボードの **[C]** キーを押しながら、パソコンの電源を入れる

「復元する構成を選択してください」のメッセージが表示されます。

6 **[1]** キーを押す

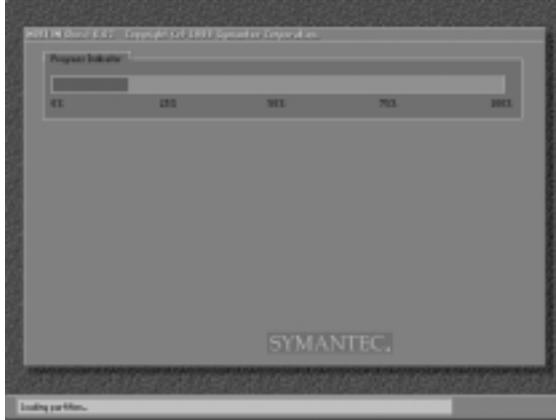
「ハードディスクの内容は、すべて削除されます！」のメッセージが表示されます。

7 Yキーを押す

処理を中止する場合は、Nキーを押してください。

復元中は、次の画面が表示されます。

復元の進行状況を示すグラフ表示が、100%のところに達すると完了です。



(表示例)

8 CDを取り出し、パソコンからCD-ROMドライブやマルチメディアポートリプリケーターなどの周辺機器をすべて取りはずしてから、何かキーを押す

システムが再起動します。

9 Windowsのセットアップを行う

☞ Windowsのセットアップについて

⇒ 「2章 2 初めて電源を入れるとき」

● Windows 2000 / NT モデルの場合



注意

・復元する前にハードディスクのフォーマットを行います。ハードディスクの内容はすべて削除されますので、必要なデータがある場合には、あらかじめフロッピーディスクなどに保存してください。ハードウェア構成を変更している場合は、本パソコンをご購入時の状態に戻してから、システムの復元を行なってください。



メモ

・ご購入時の状態でシステムを復元した場合、次のようなパーティションがハードディスクに作成されています。

 Cドライブ：NTFS システム

 Cドライブ：約 8GB、NTFS システム

Windows NT で空き領域を使用するには「ディスクアドミニストレータ」を使用してください。

☞ 「ディスクアドミニストレータ」について

⇨ 『Windows のヘルプ』

- 1 パソコンの電源を切り、パソコンをご購入時の状態に戻す
増設したハードディスクドライブや周辺機器などは取りはずしてください。
- 2 パソコンに CD-ROM ドライブを接続する
 - PC カードタイプの CD-ROM ドライブを使う場合
パソコンの PC カードスロットに CD-ROM ドライブの PC カードを接続します。
添付の「標準システムインストール起動ディスク」を使用すると、使用できる CD-ROM ドライブの種類が増えます。
 - マルチメディアポートリプリケータの CD-ROM ドライブを使う場合
セレクトابلベイに CD-ROM ドライブをセットし、拡張コネクタにマルチメディアポートリプリケータを接続します。
- 3 「Product Recovery CD-ROM」を外付け CD-ROM ドライブにセットする

- 4 キーボードの[C]キーを押しながら、パソコンの電源を入れる
TOSHIBAのロゴが表示されたら[C]キーを離します。
「復元するOSを選択してください」というメッセージが表示されます。
- 5 Windows 2000を復元する場合には、[1]キーを押す
Windows NTを復元する場合には、[2]キーを押す
「ハードディスクの内容は、すべて削除されます！」というメッセージが表示されます。
- 6 復元の処理を開始する場合には、[Y]キーを押す
処理を中止する場合には、[N]キーを押す
- 7 次の画面が表示された場合は、メッセージを確認し、何かキーを押す



ここで表示される画面は、復元の途中で表示されるメッセージについての説明です。内容をご確認のうえ、そのまま何かキーを押してください。

復元中は、次の画面が表示されます。

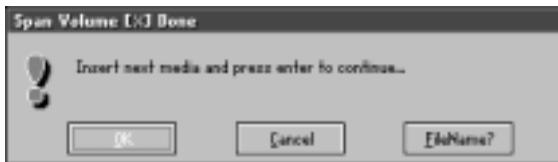
復元の進行状況を示すグラフ表示が、100%のところまで達すると完了です。



(表示例)

8 メッセージに従い、「Product Recovery CD-ROM」を入れ替える

Windows 2000の復元中に次のメッセージが表示された場合には、「Product Recovery CD-ROM Disk2」に入れ替えて、**[Enter]**キーを押してください。



復元が完了すると、終了画面が表示されます。

9 パソコンの電源を切り、CD-ROM ドライブやマルチメディアポートリプリケータを取りはずす

10 パソコンの電源を入れ、Windowsのセットアップを行う

「2章 2 初めて電源を入れるとき」の **2000** 手順1、**NT** 手順2から操作を行なってください。

Windows 98 モデルでは、Windows のみを復元することができます。最小構成でシステムを復元しますので、ご購入時にプレインストールされていたデバイスドライバやアプリケーションなどはインストールされません。Windows のセットアップ終了後、本製品に同梱されている「アプリケーション&ドライバ CD-ROM」から、必要なデバイスドライバおよびアプリケーションをインストールしてください。



メモ

- ・最小構成で復元した場合は、デバイスドライバやアプリケーションはインストールされません。本製品の機能をすべてご利用になるには、アプリケーション & ドライバ CD-ROM よりデバイスドライバなどをインストールする必要がありますので、通常は標準システムを復元することをおすすめします。
- ・最小構成で復元した場合は、Windows のセットアップ画面が、パソコンのご購入後初めて電源を入れるとき、または標準システムの復元時と異なります。また、Windows のセットアップに時間がかかります。途中、作業画面が止まったように見えるときがありますが、間違えて電源を切ったりしないでください。

1 準備

次のものを使用します。

- Product Recovery CD-ROM
- 取扱説明書（本書）
- 外付け CD-ROM ドライブ（型番：PA2671UJ または PA2673UJ）、またはマルチメディアポートリプリケータの CD-ROM ドライブ



メモ

- ・オプションの CD-ROM ドライブ PA2673UJ をお使いの場合は、PC カード側面のモード切替スイッチを [16Bit] 側に設定してください。「標準システムインストール起動ディスク」を使用すると、使用できる CD-ROM ドライブの種類が増えます。
[☞ 詳細について](#) [☞ 《オンラインマニュアル》](#)
- ・ネットワークを介して接続された CD-ROM ドライブは使用できません。
- ・最小構成でシステムを復元する場合でも、標準システムを復元する場合と同じディスク使用量（ご購入時のディスク使用量）が必要です。

また、Windows セットアップ時に Product Key の入力が必要です。Product Key はパソコン本体に貼られているラベルに印刷されています。あらかじめ紙などに書き写しておいてください。

② 操作手順



注意

・復元する前にハードディスクのフォーマットを行います。ハードディスクの内容はすべて削除されますので、必要なデータがある場合には、あらかじめフロッピーディスクなどに保存してください。ハードウェア構成を変更している場合は、本パソコンをご購入時の状態に戻してから、システムの復元を行なってください。

1 パソコンの電源を切る

2 パソコンをご購入時の状態に戻す

増設したハードディスクドライブや周辺機器などは取りはずしてください。

3 パソコンに CD-ROM ドライブを接続する

●PCカードタイプの CD-ROM ドライブを使う場合

パソコンのPCカードスロットに CD-ROM ドライブのPCカードを接続します。

●マルチメディアポートリプリケータの CD-ROM ドライブを使う場合

拡張コネクタにマルチメディアポートリプリケータを接続します。

4 「Product Recovery CD-ROM Disk 1」 をセットする

5 キーボードの **[C]** キーを押しながら、パソコンの電源を入れる

「復元する構成を選択してください」のメッセージが表示されます。

6 **[2]** キーを押す

「ハードディスクの内容は、すべて削除されます！」のメッセージが表示されます。

7 Yキーを押す

処理を中止する場合は、[N]キーを押してください。

復元中は、次の画面が表示されます。

復元の進行状況を示すグラフ表示が、100%のところに達すると完了です。



(表示例)

8 CDを取り出し、パソコンからCD-ROMドライブやマルチメディアポートリプリケーターなどの周辺機器をすべて取りはずしてから、何かキーを押す

システムが再起動します。

9 Windowsのセットアップを行う

5 アプリケーションを再インストールする (Windows 98)

Windows 98 モデルにプレインストールされているアプリケーションやドライバを一度削除してしまっても、システムの復元を行うことなく、アプリケーションごとに再インストールすることができます。

再インストールには「アプリケーション&ドライバ CD-ROM」を使用します。

1 操作手順

1 パソコンに CD-ROM ドライブを接続する

● PC カードタイプの CD-ROM ドライブを使う場合

パソコンの PC カードスロットに CD-ROM ドライブの PC カードを接続します。

● マルチメディアポートリプリケータの CD-ROM ドライブを使う場合

拡張コネクタにマルチメディアポートリプリケータを接続します。

2 「アプリケーション&ドライバ CD-ROM」を CD-ROM ドライブにセットする

「アプリケーション&ドライバ CD-ROM」は複数枚入っている場合があります。

3 表示されるメッセージに従ってインストールを行う

[ファイルのダウンロード] 画面が表示された場合は、[このプログラムを上記の場所から実行する] を選択し、[OK] ボタンをクリックしてください。



メモ

・すでにインストールされているアプリケーションを再インストールするときは、コントロールパネルの「アプリケーションの追加と削除」または各アプリケーションのアンインストールプログラムを実行して、アンインストールを行なってください。

アンインストールを行わずに再インストールを実行すると、正常にインストールできない場合があります。ただし、上記のどちらの方法でもアンインストールが実行できないアプリケーションは、上書きでインストールしても問題ありません。

7

困ったときは

本章では、困ったときの対処方法を説明します。
操作中、うまく動作しないときにお読みください。

1 困ったときは	174
----------------	-----

1 困ったときは

パソコン本体を使ってうまく操作できないとき、動作がおかしいと感じたときの解消法のヒントをご紹介します。オンラインマニュアルをご覧になれる状態のときは、《オンラインマニュアル 困ったときは》もご覧ください。

1 Q&A を見る前に

設定の確認によく使う、[コントロールパネル] の開きかたを説明します。

● 方法 1 - [スタート] メニューから開く

- 1 [スタート] ボタンをクリックする
- 2 [設定] にマウスポインタを合わせる
- 3 [コントロールパネル] をクリックする
[コントロールパネル] が開きます。

● 方法 2 - [マイコンピュータ] から開く

- 1 デスクトップの [マイコンピュータ] アイコンをダブルクリックする
- 2 [コントロールパネル] アイコンをダブルクリックする
[コントロールパネル] が開きます。

② Q&A 集

● 電源を入れるとき／切るとき

- 電源が入らない／システムが起動しない 177
- 自動的にプログラムが実行される 179
- 電源が切れる 180
- 電源が切れない 181
- 電源が入ってしまう 181

● 表示・画面について

- 画面に何も表示されない 182
- 画面が見にくい 183
- 表示自動停止機能が働かない 186
- タスクバー／ウィンドウの表示 186
- ファイルが見つからない 187

● アプリケーションについて

- アプリケーションが使えない 188

● 印刷について

- 印刷できない 190

● キーボード／マウス／アキュポイントⅡについて

- 思うように文字が入力できない 191
- マウス／キーボード／アキュポイントⅡが使えない 194

● 周辺機器についてのトラブル

- フロッピーディスクについて 196
- CD について 199
- PC カードについて 200
- LAN 機能について 202
- USB 機器について 203
- 赤外線通信について 204

● 音量について

- スピーカから音が聞こえない 204
- おかしな音が聞こえる 208

● 調子がおかしい！

- テレビ、ラジオに障害が出る 208
- 休止状態にならない 209
- パソコンの動作がおかしい 210
- その他調子がおかしい 212

● 不明なメッセージが出た！

..... 213

● 異常や故障の場合

..... 215

● 東芝 PC サービス・サポートのご案内

..... 215

● 電源を入れるとき／切るとき

● 電源が入らない／システムが起動しない

① パソコンの電源が入らない



電源スイッチがロックされている

電源スイッチロックを左側にしてロックを解除し、再度電源スイッチを押してください。



電源スイッチを押す時間が短い

電源スイッチをしばらく押し続けてください。



一度電源が入りかけるが、すぐに切れる

(Main Battery LED がオレンジ色に点滅している場合)



バッテリーの充電量が少ない

- 本製品用の AC アダプタを接続する
他機種用の AC アダプタは使用できません。
- 充電済みのバッテリーパックを取り付ける



一度電源が入りかけるが、すぐに切れる

(DC IN LED がオレンジ色に点滅している場合)



電源の接触が悪い

- AC アダプタを抜き差ししてみる
- バッテリーパックを抜き差ししてみる
- リセットスイッチを押す

先の細い、丈夫なもの（例えばクリップを伸ばしたものなど）で押しってください。



危険防止機能が働いた

- パソコンを移動するなど、パソコンの内部温度が下がるのを待つ

パソコン内部温度の上昇が一定以上に達すると、危険防止機能が働き、システムが自動停止します。使用できる環境温度は 5～35℃です。

以上の手順でも解決できない場合は、お近くの保守サービスにご連絡ください。

電源を入れたが、システムが起動しない

休止状態による起動ができなくなった ()

休止状態によるパソコンの起動をせずに、システムを再起動してください。

この場合、休止状態によって保存されたデータは失われます。

① 電源を切る

② [BackSpace] キーを押しながら、電源スイッチを押す
次のメッセージが表示されます。

[WARNING:CAN'T RESTORE HIBERNATED
STATE. PRESS ANY KEY TO CONTINUE.]

③ 何かキーを押す

フロッピーディスクドライブに、システムが入っていない フロッピーディスクがセットされている

フロッピーディスクを取り出してから、パソコンを再起動してください。

リセットスイッチを押しても休止状態の画面の後にシステム が停止してしまい、キー操作ができない ()

電源を切り、[BackSpace] キーを押しながら電源を入れる

「Windows が正しく終了されなかったため、ディスクド ライブにエラーがある可能性があります。」と表示され、 自動的にスキャンディスクが始まる ()

前回使用したときに、Windows の終了手順に従わずに 電源を切った

スキャンディスク後、ハードディスクに異常がなければ、
Windows が起動します。

正常に起動しなかった場合は、画面の指示に従って操作を行
なってください。

● 自動的にプログラムが実行される



Windows の起動と同時にプログラムが実行される



「スタートアップ」に登録されている

「スタートアップ」に登録されていると、Windows 起動と同時に、プログラムが自動的に起動します。

次の手順で設定を変更してください。

98

- ① [スタート] - [設定] - [タスクバーと [スタート] メニュー...] をクリックする
- ② [[スタート] メニューの設定] タブで [削除] ボタンをクリックする
[ショートカットやフォルダの削除] 画面が表示されます。
- ③ [スタートアップ] をダブルクリックする
[スタートアップ] の下にアイコンが表示されます。
- ④ 削除したいプログラムのアイコンをクリックし、[削除] ボタンをクリックする
- ⑤ [ショートカットやフォルダの削除] 画面で [閉じる] ボタンをクリックする
- ⑥ [タスクバーのプロパティ] 画面で [OK] ボタンをクリックする

2000

- ① [スタート] - [設定] - [タスクバーと [スタート] メニュー...] をクリックする
- ② [詳細] タブで [削除] をクリックする
[ショートカットやフォルダの削除] 画面が表示されます。
- ③ [スタートアップ] をダブルクリックする
[スタートアップ] の下にアイコンが表示されます。
- ④ 削除したいプログラムのアイコンをクリックし、[削除] ボタンをクリックする
確認メッセージが表示されます。
- ⑤ [はい] ボタンをクリックする
- ⑥ [ショートカットやフォルダの削除] 画面で [閉じる] ボタンをクリックする
- ⑦ [タスクバーとスタートメニューのプロパティ] 画面で [OK] ボタンをクリックする



- ① [スタート] - [設定] - [タスクバー] をクリックする
- ② [[スタート] メニューの設定] タブで [削除] ボタンをクリックする
[ショートカットやフォルダの削除] 画面が表示されます。
- ③ [スタートアップ] をダブルクリックする
[スタートアップ] の下にアイコンが表示されます。
- ④ 削除したいプログラムのアイコンをクリックし、[削除] ボタンをクリックする
確認メッセージが表示されます。
- ⑤ [[はい] ボタンをクリックする
- ⑥ [ショートカットやフォルダの削除] 画面で [閉じる] ボタンをクリックする
- ⑦ [タスクバーのプロパティ] 画面で [OK] ボタンをクリックする

● 電源が切れる



パソコン使用中に電源が切れる



危険防止機能が働いた

- パソコンを移動するなど、パソコンの内部温度が下がるのを待つ

パソコンの内部温度の上昇が一定以上に達すると、危険防止機能が働き、システムを自動停止します。使用できる環境温度は5～35℃です。温度の低い場所に移動しても、電源が切れる場合は、お近くの保守サービスにご連絡ください。



警告音が鳴り、Main Battery LED が消灯した



バッテリーの充電量が少なくなった

- AC アダプタを接続する
- 充電済みのバッテリーパックを取り付ける

● 電源が切れない

 電源スイッチを押しても電源が切れず、「ピッピッピッ…」と音が鳴り続ける

 電源スイッチを5秒以上押す

 リセットスイッチを押す

 ACアダプター→バッテリーパックの順に取りはずし、再度バッテリーパック→ACアダプタの順に取り付ける

● 電源が入ってしまう

 自動的に電源が入ってしまう

 自動的に電源が入るようWindowsやユーティリティで設定されている

98 2000

Windowsのタスクスケジューラで設定されていると、スタンバイや休止状態実行中に自動的に電源が入ります。

- ① [スタート] - [プログラム] - [アクセサリ] - [システムツール] - [タスク] をクリックする
- ② 設定されているタスクをダブルクリックする
- ③ [設定] タブの [電源の管理] で [タスクの実行時にスリープを解除する] のチェックをはずす
- ④ [OK] ボタンをクリックする

NT

[省電力ユーティリティ] で「タイマオン機能」が設定されています。

[コントロールパネル] - [省電力] の [タイマオン機能] タブで設定をオフにしてください。

☞ 省電力設定について ☞ [5章 1 消費電力を節約する]

 パネルスイッチ機能が設定されている
ディスプレイを開くと電源が入るように設定されています。
設定を解除してください。

☞ [2章 3 電源を切る]

● 表示・画面について

● 画面に何も表示されない



画面に何も表示されない

(Power  LED が点灯している場合)



表示自動停止機能が働いた

- ・ **[Shift]** キーや **[Ctrl]** キーを押す
- ・ マウスやアキュポイント II を動かす



メモ

・ CRT ディスプレイを接続している場合、表示が復帰するまでに 10 秒前後かかることがあります。故障ではありません。



画面に何も表示されない

(Power  LED が点灯していない、またはオレンジ点滅している場合)



電源が入っていない、またはスタンバイ状態 ( )、サスペンド状態 () になっている
電源スイッチを押してください。



インスタントセキュリティ機能が働いた

インスタントセキュリティ機能については、「1 章 6-**[Fn]** キーを使った特殊機能キー」をご覧ください。解除するには、次の操作を行なってください。

- ・ パスワードを設定していない場合
[Enter] キーまたは **[F1]** キーを押す
- ・ パスワードを設定している場合
パスワードを入力し、**[Enter]** キーを押す



メモ

・ パスワードを忘れた場合は、お使いの機種をご確認後、お近くの保守サービスにご依頼ください。
・ パスワードの解除を保守サービスにご依頼される場合は、有償です。またそのとき、身分証明書 (お客様ご自身を確認できる物) の提示が必要となります。



表示装置が外部 CRT に設定されている

[Fn] + **[F5]** キーを押して表示装置を切り替えてください。
押すごとに表示が切り替わります。

➡ 「1 章 6-**[Fn]** キーを使った特殊機能キー」

● 画面が見にくい



画面が見にくい



ディスプレイを見やすい角度に変える



画面が暗い



画面の輝度が低く設定されている

次の手順で設定を変更してください。

98 **2000**

- ① [コントロールパネル] を開き、[東芝省電力] をダブルクリックする
- ② [電源設定] タブで利用したい省電力モードを選択し、[詳細] ボタンをクリックする
- ③ [省電力] タブで [モニタの輝度] を設定する
- ④ [OK] ボタンをクリックする

NT

- ① [コントロールパネル] を開き、[省電力] をダブルクリックする
- ② [省電力モード] タブで利用したい省電力モードを選択し、[詳細設定] ボタンをクリックする
- ③ [ディスプレイ] タブで [輝度設定] を設定する
- ④ [OK] ボタンをクリックする



サイドライト用の冷陰極管が消耗している

お使いの機種をご確認後、お近くの保守サービスにご連絡ください。有償にて交換いたします。



メモ

- ・ディスプレイに装着されているサイドライト用のFL管（冷陰極管）は、ご使用になるにつれて発光量が徐々に減少し、表示画面が暗くなります。画面の輝度を変更しても暗い場合は、長期間のご使用によりサイドライト用の冷陰極管が消耗していることが考えられます。



画面の外に黒い枠が表示される



低い解像度で設定されている

[画面のプロパティ] で領域サイズを変更してください。

98 2000

- ① [コントロールパネル] を開き、[画面] をダブルクリックする
- ② [設定] タブの [画面の領域] で領域サイズを変更し、[OK] ボタンをクリックする

NT

- ① [コントロールパネル] を開き、[画面] をダブルクリックする
- ② [ディスプレイの設定] タブの [デスクトップ領域] で領域サイズを変更する
- ③ [OK] ボタンをクリックする



色が汚い



少ない色数で設定されている

次の手順で設定を変更してください。

98

- ① [コントロールパネル] を開き、[画面] をダブルクリックする
- ② [設定] タブで [色] を [High Color] や [True Color] に変更する
- ③ [OK] ボタンをクリックする

2000

- ① [コントロールパネル] を開き、[画面] をダブルクリックする
- ② [設定] タブで [画面の色] を [High Color] や [True Color] に変更する
- ③ [OK] ボタンをクリックする

NT

- ① [コントロールパネル] を開き、[画面] をダブルクリックする
- ② [ディスプレイの設定] タブで [カラーパレット] を [65536色] や [True Color] に変更する
- ③ [OK] ボタンをクリックする



メモ

・解像度によっては [High Color] や [65536色]、[True Color] に設定できません。



画面の領域や色を変更できない



ディスプレイの設定を確認してください。

98

- ① [コントロールパネル] を開き、[画面] をダブルクリックする
- ② [設定] タブで各設定が正しいか確認する
- ③ [OK] ボタンをクリックする

2000

- ① [コントロールパネル] を開き、[システム] をダブルクリックする
- ② [ハードウェア] タブで [デバイスマネージャ] ボタンをクリックし、[ディスプレイアダプタ] が正しく設定されているか確認する
- ③ [OK] ボタンをクリックする

NT

- ① [コントロールパネル] を開き、[画面] をダブルクリックする
- ② [ディスプレイの設定] タブで [ディスプレイの種類] ボタンをクリックし、ディスプレイが正しく設定されているか確認する
- ③ [OK] ボタンをクリックする

CRT ディスプレイにうまく表示されない

 拡張コネクタに I/O アダプタ、ミニ I/O アダプタ、マルチメディアポートリプリケータのいずれかを接続した状態でパソコン本体の RGB コネクタを使用している

上記の機器を接続している場合、CRT ディスプレイはパソコン本体ではなく、接続した機器側の RGB コネクタに接続してください。

CRT ディスプレイで、画面の色がにじんだように表示される

 他の電気製品の影響を受けている

テレビ、オーディオ機器のスピーカなど強力な磁気を発生する電気製品から遠ざける



メモ

・高圧電線の近くの建物の場合は、パソコン本体を置く位置を変えることによって、画像の乱れが直る場合があります。

表示自動停止機能が働かない

画面の表示自動停止を設定しても自動オフしない ()

 MS-DOS プロンプトがアクティブになっている

- MS-DOS プロンプトを終了する
- MS-DOS プロンプトを最小化する

タスクバー／ウィンドウの表示

スタートボタン／タスクバーが表示されない

 タスクバーの高さを低く設定している

次の手順で高さを調節してください。

- ① マウスポインタを画面下に移動する
- ② マウスポインタの形状が上下 (↓) の矢印に変わったら、上方向にドラッグする
- ③ 適度な位置でドロップする



タスクバーを隠すように設定されている

次の手順で常にタスクバーを表示する設定に変更してください。

- ① キーを押し、[設定] - [タスクバーとスタートメニュー] [タスクバー] をクリックする
- ② [自動的に隠す] のチェックをはずし、[OK] ボタンをクリックする



使用していたウィンドウが見えなくなった



他のウィンドウの下に隠れて見えなくなっている

タスクバーに表示されている、使用していたウィンドウと同じ名前のボタンをクリックしてください。

他のウィンドウの下に隠れて見えなくなっていた場合は、一番手前に表示されます。

● ファイルが見つからない



ファイルを保存した場所がわからない



[検索] 機能を使って検索する

次の手順で検索してください。

- ① [スタート] - [検索] - [ファイルやフォルダ] をクリックする
- ② [名前と場所] タブの [名前]、 [ファイルまたはフォルダの名前] に探したいファイルの名前を入力する
- ③ [探す場所] の をクリックし、一覧から探したい場所をクリックし、[検索開始] ボタンをクリックする
ファイルの検索が始まり、しばらくすると検索結果が表示されます。
- ④ 目的のファイルが表示されたら、ファイル名をダブルクリックして開く
目的のファイルが検索されなかった場合は、ファイル名や探す場所など、条件を変更して再度検索してください。

● アプリケーションについて

アプリケーションの使いかたについては、『アプリケーションに付属の説明書』、またはアプリケーションのヘルプをご覧ください。

● アプリケーションが使えない



アプリケーションが使えない



正しくインストールしていない

『アプリケーションに付属の説明書』を読んで、正しくインストールしてください。



アプリケーションがシステムに対応していない

アプリケーションによっては、使用できるシステム（OS）が限られている場合があります。

☞ 『アプリケーションに付属の説明書』



メモリが足りない

アプリケーションを起動するために必要なメモリ容量がない場合は、そのアプリケーションを使用することはできません。必要なメモリ容量は、『アプリケーションに付属の説明書』をご覧ください。

☞ メモリの増設 ☞ 「4章 8 メモリを増設する」



システム構成を変更していない

アプリケーションによっては、システム構成の変更が必要です。『アプリケーションに付属の説明書』を読んで、システム構成を変更してください。



プレインストールされていたアプリケーションを削除してしまった

添付のCD-ROMから再インストールしてください。

98

「アプリケーション & ドライバ CD-ROM」を使用して再インストールします。本製品にプレインストールされているアプリケーションやドライバは、削除してしまった場合も、再インストールできます。

☞ 「6章 5 アプリケーションを再インストールする」

2000 **NT**

「アプリケーションCD」を使用して再インストールします。あらかじめ「アプリケーションCD」に収録されているアプリケーションは何度でも再インストールできます。



アプリケーションが操作できなくなった



アプリケーションを強制終了する

この場合、保存していないデータは消去されます。

98

- ① **[Ctrl] + [Alt] + [Del]** キーを押す
[プログラムの強制終了] 画面が表示されます。
- ② 応答しないアプリケーションを選択し、[終了] ボタンをクリックする
アプリケーションが終了します。

2000

- ① **[Ctrl] + [Alt] + [Del]** キーを押す
[Windows のセキュリティ] 画面が表示されます。
- ② [タスクマネージャ] ボタンをクリックする
[Windows タスクマネージャ] 画面が表示されます。
- ③ [アプリケーション] タブで [応答なし] と表示されているアプリケーションのタスクをクリックする
- ④ [タスクの終了] ボタンをクリックする
アプリケーションが終了します。
- ⑤ [Windows タスクマネージャ] 画面を閉じる

NT

- ① **[Ctrl] + [Alt] + [Del]** キーを押す
[Windows NT のセキュリティ] 画面が表示されます。
- ② [タスクマネージャ] ボタンをクリックする
[Windows NT タスクマネージャ] 画面が表示されます。
- ③ [アプリケーション] タブで [応答なし] と表示されているアプリケーションのタスクをクリックする
- ④ [タスクの終了] ボタンをクリックする
アプリケーションが終了します。
- ⑤ [Windows NT タスクマネージャ] 画面を閉じる

● 印刷について

● 印刷できない

印刷できない

プリンタの電源が入っていない

次の操作を行なってください。

- ・ パソコン本体の電源をいったん切り、プリンタ、パソコン本体の順で電源を入れ直す
- ・ 接続ケーブルや接続コネクタが正しく接続されていない
正しく接続し直してください。

接続しているプリンタと違うプリンタを設定している プリンタの設定を確認してください。

- ① [スタート] - [設定] - [プリンタ] をクリックする
- ② 接続しているプリンタのアイコンを右クリックする
ショートカットメニューが表示されます。
- ③ 「通常使うプリンタに設定」をクリックしてチェックをつける

スタンバイ/サスペンド、休止状態から復帰後、正常に印刷できない

スタンバイ/サスペンドまたは休止状態に対応していない プリンタを使用している

パソコン本体、プリンタの電源を切り、プリンタを接続し直してください。

最後まで正しく印刷できない

ECP に対応していないプリンタを使用している

プリンタのモードを双方向に設定してください。

- ① [コントロールパネル] を開き、[東芝 HW セットアップ] をダブルクリックする
- ② [Parallel/Printer] タブで [Parallel Port Mode] を [Standard Bi-directional] に設定する
- ③ [OK] ボタンをクリックする



プリンタドライバを更新する

ドライバの入手方法については、プリンタの製造元にご確認ください。

98 **2000**

Windows Update を行うと最新のドライバをダウンロードでき、ドライバを更新できる場合があります。
[スタート] - [Windows Update] をクリックしてください。



上記のすべてを行っても印刷できない



Windows を終了し、パソコンを再起動する



プリンタのセルフテスト（印字テスト）を実行する

セルフテストができないときは、プリンタの故障が考えられます。プリンタの製造元にご相談ください。

● キーボード／マウス／アキュポイントⅡについて

● 思うように文字が入力できない



キーボードのキーを押しても文字が表示されない



システムが処理中である

マウスポインタが砂時計の形をしている間は、システムが処理中のため、キーボードまたはマウスの操作を受け付けられないことがあります。システムの処理が終わるまで待ってから操作してください。



半角の「~」（チルダ）が入力できない



● 英数字の入力、ローマ字入力の場合

[Shift] + [~] キーを押す



キーボードの印刷通りに「£」、「Φ」、「々」などの文字が入力できない



本製品で使用している OADG 規格のキーボードの場合、上記の文字は直接入力できません。

詳しくは、お使いの日本語入力システムに付属の説明書をご覧ください。

なお、本製品に標準装備している MS-IME では、次の読みで入力すると変換できます。

- ・ £ … 98 「たんい」
- 2000 NT 「ぼんど」または「たんい」
- ・ Φ … 「せんと」または「たんい」
- ・ 々 … 「おなじ」または「きこう」



キーを押しても希望の文字が入力できない



文字ロックの状態が合っていない

キーボードの文字キーは、文字ロックの状態によって、入力される文字が異なります。次のキーを使って、キーボードを希望の状態にしてください。



- ・ Ctrl + CapsLock英数 キー
- ・ Shift + CapsLock英数 キー
- ・ Fn + F11 キー
- ・ Fn + F10 キー
- ・ Alt + カタカナひらがな キー



- ・ Ctrl + Shift + カタカナひらがな キー
- ・ Shift + CapsLock英数 キー
- ・ Fn + F11 キー
- ・ Fn + F10 キー

☞ 「1 章 6 キーボード」

キーに印刷された文字と違う文字が入力されてしまう

-  キーボードドライバが正しく設定されていない
次の手順で設定を変更してください。

98

- ① [コントロールパネル] を開き、[システム] をダブルクリックする
- ② [デバイスマネージャ] タブで [キーボード] を [106 日本語 (A01) キーボード (Ctrl +英数)] に設定する
- ③ [OK] ボタンをクリックする

2000

- ① [コントロールパネル] を開き、[システム] をダブルクリックする
- ② [ハードウェア] タブで [デバイスマネージャ] ボタンをクリックする
- ③ [キーボード] を [日本語 PS/2 キーボード (106/109キー)] に設定する
- ④ [閉じる] ボタンをクリックする
- ⑤ パソコンを再起動する

NT

- ① [コントロールパネル] を開き、[キーボード] をダブルクリックする
- ② [全般] タブで [キーボードの種類] を [PC/AT 106 日本語 (A01) キーボード] に設定する
- ③ [OK] ボタンをクリックする
- ④ パソコンを再起動する

Alt + **半/全** キーを押しても、漢字モードにならない

-  日本語入力システムが組み込まれていない
日本語入力システムを組み込んでください。

-  キーボードドライバが正しく設定されていない
キーボードドライバの設定を確認してください。

☞ 「Q. キーに印刷された文字と違う文字が入力されてしまう」



どのキーを押しても、反応しない
設定は合っているが、希望の文字が入力できない



内部処理が正しく行われなかった

次の操作を行なってください。

- ・電源を切って、しばらくしてから電源を入れ直す
- ・リセットスイッチを押す

● マウス／キーボード／アキュポイントⅡが使えない



アキュポイントⅡやマウスを動かしても画面のマウスポインタが動かない（反応しない）



システムが処理中である

マウスポインタが砂時計の形をしている間は、システムが処理中のため、キーボードまたはマウスの操作を受け付けられないときがあります。システムの処理が終わるまで待ってから操作してください。



PS/2 マウスが使えない



マウスを接続した状態で、電源を入れ直す



パソコン本体の電源を切ってマウスを抜き差しし、再度パソコン本体の電源を入れる



新しいハードウェアとして認識されていない（ )

次の手順でハードウェアウィザードを実行してください。

- ① [コントロールパネル] を開き、 [ハードウェアの追加]、 [ハードウェアの追加と削除] をダブルクリックする
- ② [次へ] ボタンをクリックする
画面の指示に従って操作してください。

アクュポイントⅡとPS/2 マウスが同時に使用できない

ポインティング装置と同時に使用できるように設定されていない

次の手順で設定を変更してください。

マウスによっては同時使用できない場合があります。

- ① [コントロールパネル] を開き、[東芝 HW セットアップ] をダブルクリックする
- ② [Pointing Devices] タブで [Pointing Devices] を [Simultaneous] に設定する
- ③ [OK] ボタンをクリックする

シリアルマウスが使えない

シリアルマウスが認識されていない

パソコン本体の電源を切って、マウスを接続してください。接続後、パソコン本体の電源を入れると、シリアルマウスが自動的に認識されます。

シリアルマウスとアクュポイントⅡが同時に使えるようになります。



認識されない場合は、次の操作を行なってください。

- ① [コントロールパネル] を開き、[システム] をダブルクリックする
- ② [ハードウェア] タブで [デバイスマネージャ] ボタンをクリックする
- ③ [マウスとそのほかのポインティングデバイス] を右クリックし、[ハードウェア変更のスキャン] をクリックする



次の操作を行なってください。

- ① COMMS コネクタにシリアルマウスを接続して電源を入れる
- ② Administrators グループのユーザアカウントでログオンする
- ③ ディスクの挿入画面で [OK] ボタンをクリックする
- ④ コピー元に「C:¥i386」と入力し、[OK] ボタンをクリックする
「再起動しますか？」のメッセージが表示されたら、[はい] ボタンをクリックして再起動してください。



キーボードに飲み物をこぼしてしまった



電源を切り、AC アダプタと電源コードを取りはずす

飲み物など液体がこぼれて内部に入ると、感電、本体の故障、作成データの消失などのおそれがあります。液体が内部に入ったときは、電源を切った後、AC アダプタと電源コードを取りはずし、バッテリーパックを取りはずして、お買い求めの販売店または保守サービスに点検を依頼してください。

● 周辺機器についてのトラブル

周辺機器については「4章 ハードウェアについて」もあわせてご覧ください。

● フロッピーディスクについて



フロッピーディスクに書き込み（保存）できない



フォーマットされていない

フォーマットされていないフロッピーディスクは書き込み（保存）できません。



メモ

・フォーマット可能な形式は 2DD の場合 720KB、2HD の場合 1.44MB のみになります。



書き込み禁止状態になっている

- フロッピーディスクを取り出して、書き込み可能状態にする

☞ 書き込み禁止状態、書き込み可能状態

⇒ 「4章4 フロッピーディスクを使う」



フロッピーディスクの空き容量が少ない

- 不要なファイルを削除して、やり直す
- 別のフロッピーディスクを使用する



「ファイルが作れません」というエラーメッセージが表示された



新しいフォルダを作って、そこにファイルを作成する
作成できるファイル数には制限があります。



ファイルが開けない

(読み込みエラーやディスクエラーが表示される)



フロッピーディスクに何らかの問題がある

フロッピーディスクを次の手順でチェックしてください。

98

- ① [スタート] - [プログラム] - [アクセサリ] - [システムツール] - [スキャンディスク] をクリックする
- ② 「エラーチェックをするドライブ」欄で「3.5インチFD (A:)」を選ぶ
- ③ [開始] ボタンをクリックする
スキャンディスクを開始します。

2000

- ① [マイコンピュータ] を開く
- ② [3.5インチFD] を右クリックし、表示されたメニューから [プロパティ] をクリックする
- ③ [ツール] タブの [エラーチェック] で [チェックする] ボタンをクリックする
- ④ [チェックディスク] 画面で [不良なセクタをスキャンし、回復する] をチェックする
- ⑤ [開始] ボタンをクリックする
ディスクチェックを開始します。



- ① [マイコンピュータ] を開く
- ② [3.5 インチ FD] を右クリックし、表示されたメニューから [プロパティ] をクリックする
- ③ [ツール] タブの [エラーチェック] で [チェックする] ボタンをクリックする
- ④ [ディスクのチェック] 画面で [不良なセクタを走査し、回復する] をチェックする
- ⑤ [開始] ボタンをクリックする
ディスクのチェックを開始します。



フロッピーディスクドライブが故障している

他のフロッピーディスクをセットし、ファイルが開けるか確認してください。



フォーマットに時間がかかる



未フォーマットのフロッピーディスクをフォーマットしている

Windows では、初めてフォーマットするフロッピーディスクの場合、時間がかかります。



フロッピーディスクドライブのLEDが消えない



データを処理している

大量のデータを処理しているときは、時間がかかります。

LED が消えるまで待ってください。

どうしても消えないときは作業を中断し、リセットスイッチを押して再起動してください。

再起動後、作業を行い、LED が消えない場合は、電源を切り、お近くの保守サービスに連絡してください。



フロッピーディスクからシステムが起動しない



システムが入っていないフロッピーディスクが挿入されている

システムが入ったフロッピーディスクと入れ替えてください。

 フロッピーディスクから起動するように設定されていない次の操作を行なってください。

- ① [コントロールパネル] を開き、[東芝 HW セットアップ] をダブルクリックする
- ② [USB] タブで [USB-FDD Legacy Emulation] を [Enabled] に設定する
- ③ [Boot Priority] タブの [Boot Priority Options] で [FDD] が最初になるように設定する
- ④ [OK] ボタンをクリックする

● CD について

 CD にアクセスできない

 CD-ROM ドライブのディスクトレイがきちんとしまっていない

カチッと音がするまで閉めてください。

 CD-ROM ドライブに CD がきちんとセットされていない
ラベルがついている方を上にして、水平にセットしてください。

 CD-ROM ドライブのディスクトレイ内に異物がある
異物があったら取り除いてください。何かはさまっていると、故障の原因になります。

 CD が汚れている
汚れている場合は、乾燥した布で拭いてください。それでも汚れが落ちなければ、水か中性洗剤で湿らせた布で拭き取ってください。

 CD-ROM ドライブが CD を認識していない
CD-ROM ドライブの LED が点滅している間は、まだ認識されていません。
消灯するまで待って、再度アクセスしてください。

 CD-ROM ドライブのレンズが汚れている
汚れを市販のレンズクリーナで取り除いてください。

 CD をセットしても自動的に起動しない

 自動機能に対応していない CD を挿入している

次の手順で起動してください。

- ① デスクトップの [マイコンピュータ] をダブルクリックする
- ② CD-ROM ドライブのアイコンをダブルクリックする

 正しく動作する CD もあるが、動作しない CD もある

 使用環境の設定が必要な CD を使用している

各 CD によって異なる使用環境を設定しなければならない場合があります。『CD に付属の説明書』を読んで、それぞれの CD に合った環境を設定してください。

CD-R、CD-RW には、メディアの特性や書き込み時の特性により、読み取れないものもあります。

PC カードについて

 PC カードの挿入が認識されない

 PC カードを奥までしっかり差し込む

イジェクトボタンが出てくるまで差し込んでください。

☞ PC カードの取り付け ☜ 「4 章 3 PC カードを使う」

 PC カードの挿入は認識されるがデバイスとして認識されない

 MS-DOS 上で使用しようとしている

本製品は Windows 専用モデルです。MS-DOS モードで PC カードをご利用いただくためのドライバはご用意しておりません。



デバイスとして認識されるが使用できない



IRQが不足している

使用しないデバイスを使用不可にしてください。

98

- ① [コントロールパネル] を開き、[システム] をダブルクリックする
- ② [デバイスマネージャ] タブで使用しない装置の種類 (CD-ROM など) の **[+]** をクリックする
- ③ 表示される項目から使用しないデバイスを選択し、[プロパティ] ボタンをクリックする
- ④ [全般] タブで [このハードウェアプロファイルで使用不可にする] をチェックし、[OK] ボタンをクリックする
- ⑤ [閉じる] ボタンをクリックする

2000

- ① [コントロールパネル] を開き、[システム] をダブルクリックする
- ② [ハードウェア] タブで [デバイスマネージャ] ボタンをクリックする
- ③ [デバイスマネージャ] で使用しない装置の種類 (CD-ROM など) の **[+]** をクリックする
- ④ 表示される項目から使用しないデバイスを右クリックし、[無効] をクリックする
- ⑤ 確認メッセージ画面で [はい] ボタンをクリックする
- ⑥ [デバイスマネージャ] を閉じる
- ⑦ [システムのプロパティ] 画面で [OK] ボタンをクリックする

NT

- ① [コントロールパネル] を開き、[デバイス] をダブルクリックする
- ② 使用しないデバイスをクリックし、[ハードウェアプロファイル] ボタンをクリックする
- ③ [無効] ボタンをクリックする
- ④ [OK] ボタンをクリックする
- ⑤ [閉じる] ボタンをクリックする

● LAN 機能について



ネットワークに接続できない



相手先のネットワーク機器（HUB）などの設定やケーブルの状態を確認する



Windows のネットワーク設定を確認する
ネットワーク管理者に確認してください。



LAN 機能が無効に設定されている（ )
次の手順で設定を変更してください。

98

- ① [コントロールパネル] を開き、[システム] をダブルクリックする
- ② [デバイスマネージャ] タブで [ネットワークアダプタ] の左の  をクリックする
 が  に変わり、項目が表示されます。
- ③ 表示された項目から、「Toshiba Fast Ether LAN Adapter」をクリックする
- ④ [プロパティ] ボタンをクリックする
- ⑤ [全般] タブで [このハードウェア プロファイルで使用不可にする] のチェックをはずす
- ⑥ [OK] ボタンをクリックする
[システムのプロパティ] 画面に戻ります。
- ⑦ [閉じる] ボタンをクリックする

2000

- ① [コントロールパネル] を開き、[システム] をダブルクリックする
- ② [ハードウェア] タブの [デバイスマネージャ] をクリックし、[デバイスマネージャ] 画面で [ネットワークアダプタ] の左の  をクリックする
 が  に変わり、項目が表示されます。
- ③ 表示された項目から、「Intel 8255x-based PCI Ethernet Adapter (10/100)」を右クリックし、[有効] をクリックする
- ④ [OK] ボタンをクリックする



Service Pack6a のセットアップを行う（)

☞ [4章 5-5- Service Pack6a のインストールについて]

● USB 機器について



USB 機器が使えない



Windows NT を使用している

Windows NT モデルでは、USB フロッピーディスクドライブ（別売り）以外の USB 機器をサポートしていません。



USB 機器がシステムに対応していない

USB 機器によっては、使用できるシステム（OS）が限られている場合があります。

☞ 『USB 機器に付属の説明書』



正しく接続されていない

ケーブルが、パソコン本体と USB 機器に正しく接続されているかどうか確認してください。



ドライバが正しくインストールされていない

ハードウェアウィザードを実行してください。

① [コントロールパネル] を開き、 [ハードウェアの追加]、 [ハードウェアの追加と削除] をダブルクリックする

② [次へ] ボタンをクリックする

画面の指示に従って操作してください。



Windows を再起動する



休止状態から復帰後、正常に動作しない（ ）



休止状態に対応していない USB 機器を接続している

USB コネクタから 1 度はずし、再度接続してください。

● 赤外線通信について



赤外線通信ができない



赤外線ポートを正しく設定する



通信先とパソコンの通信速度を同じにする



赤外線ポートの汚れをおとす



赤外線ポート間の障害物を取り除く



データが正しく送られない



通信先とパソコンの通信速度を同じにする



通信先との距離を変えてみる



直射日光や蛍光灯の光の当たる場所からパソコンを離す



赤外線通信ソフトが使えない ()



赤外線ソフトが正しく設定されていない

次の手順で設定を変更してください。

- ① [コントロールパネル] を開き、[赤外線モニタ] をダブルクリックする
- ② [オプション] タブで [赤外線通信を使用可能にする] をチェックする

● 音量について

● スピーカから音が聞こえない



スピーカから音が聞こえない



ヘッドホン出力端子にヘッドホンを接続している
ヘッドホン出力端子からヘッドホンを取りはずしてください。



パソコン本体のボリュームダイヤルで音量を調節する



システムスピーカを有効に設定する

98 **2000**

- ① [コントロールパネル] を開き、[東芝 HW セットアップ] をダブルクリックする
- ② [Hardware Alarm] タブで [System Beep] をチェックし、[OK] ボタンをクリックする

NT

- ① [コントロールパネル] を開き、[省電力] をダブルクリックする
- ② [省電力モード] タブで利用したい省電力モードを選択し、[詳細設定] ボタンをクリックする
- ③ [その他] タブで [システムビープを鳴らす] をチェックし、[OK] ボタンをクリックする



タスクバーの [ボリュームコントロール] の設定が「ミュート」になっている

- ① タスクバーの [スピーカ] アイコンをクリックする
- ② [ミュート] にチェックがついている場合は、クリックし、チェックをはずす
- ③ つまみを上下にドラッグして調整する
つまみを上にするとスピーカの音量が上がります。

サウンドドライバが正しく設定されていない
サウンドドライバをインストールし直してください。**98**

「アプリケーション & ドライバ CD-ROM」から、サウンドドライバを再インストールする

☞ [6章 5 アプリケーションを再インストールする]

2000 **NT**

詳しくは、アプリケーション CD をセットして表示される画面をご覧ください。



標準の優先するデバイスが変更されている

次の手順で「優先するデバイス」を正しく設定してください。

- ① [コントロールパネル] を開き、**98 NT** [マルチメディア]、**2000** [サウンドとマルチメディア] をダブルクリックする
- ② [オーディオ] タブの **98 NT** [再生]、**2000** [音の再生] で「優先するデバイス」を正しく設定する
- ③ [OK] ボタンをクリックする



音楽 CD やゲームの BGM がパソコン本体のスピーカから聞こえない (**98 2000**)



CD 再生機器でデジタル音楽 CD を使用する設定がされていない

次の手順で正しく設定してください。

98

- ① パソコン本体に CD-ROM ドライブまたはマルチメディアポートリプリケータを接続する
- ② [コントロールパネル] を開き、[マルチメディア] をダブルクリックする
- ③ [音楽 CD] タブで [音楽 CD を再生する既定の CD-ROM ドライブ] を正しく設定する
- ④ [この CD-ROM デバイスでデジタル音楽 CD を使用可能にする] をチェックし、[OK] ボタンをクリックする

2000

- ① パソコン本体に CD-ROM ドライブまたはマルチメディアポートリプリケータを接続する
- ② [コントロールパネル] を開き、[システム] をダブルクリックする
- ③ [ハードウェア] タブで [デバイスマネージャ] ボタンをクリックする
- ④ [DVD/CD-ROM ドライブ] の左側の **+** をクリックする
- ⑤ CD-ROM ドライブを選択してダブルクリックする
- ⑥ [プロパティ] タブで [この CD-ROM デバイスでデジタル音楽 CD を使用可能にする] をチェックし、[OK] ボタンをクリックする



サウンドレコーダーで録音した音声データの音質が悪い



録音時のサンプリング周波数が低い

次の方法で設定を変更してみてください。

①

[スタート] - [プログラム] - [アクセサリ] - [エンターテイメント] - [サウンドレコーダー] をクリックする



[スタート] - [プログラム] - [アクセサリ] - [マルチメディア] - [サウンドレコーダー] をクリックする

② メニューバーから [ファイル] - [プロパティ] をクリックする

③ [詳細] タブをクリックし、[形式の変換] の [今すぐ変換] ボタン、 [変換] ボタンをクリックする
Windows 98 の場合、[サウンド名] 欄は、標準で「ラジオの音質」が設定されています。

④ [属性] 欄を選ぶ

CD の音質の場合の属性は、「44.100kHz、16ビット、ステレオ」です。これを目安に属性を選んでみてください。ただし高音質にすると、データ量が増大し、結果として録音できる時間は短くなります。例えばマイクروفोनを使用して録音する場合は属性をモノラルにするなどして、なるべくデータ容量を抑えてください。

⑤ 属性が決まったら、[名前を付けて保存] ボタンをクリックし、[新しいファイル名] 欄に名前を入力し、[OK] ボタンをクリックする

⑥ 開いている画面で順に [OK] ボタンをクリックして閉じる

サウンドレコーダーの画面に戻ったら、実際に録音して再生音をチェックしてください。



メモ

・サウンドレコーダーで新しい録音を開始すると、サウンドの選択は以前の設定に戻ります。もう一度設定し直してください。

● おかしな音が聞こえる



本体からカリカリと変な音がする



ハードディスクが自動保存を行なっている

パソコン操作中は、自動的にデータの保存などの作業をしています。その際ハードディスクが動作する音が聞こえますが、問題はありません。

極端に異常な音が聞こえるときや、このような状態が頻繁に発生するときは、お買い上げの販売店またはお近くの保守サービスまでご連絡ください。



甲高い音がする



ハウリングを起こしている

使用するソフトウェアによっては、外部マイクとスピーカとでハウリングを起こし、高く大きな音が出ることがあります。次の方法で調整してください。

- ・パソコン本体のボリュームダイヤルで音量を調整する
- ・使用するソフトウェアの設定を変える
- ・ボリュームコントロールの設定で調整する

● 調子がおかしい！

● テレビ・ラジオに障害が出る



テレビ、ラジオの調子がおかしい



何らかの原因がある

次の操作をしてください。

- ・テレビ、ラジオの室内アンテナの方向を変える
- ・テレビ、ラジオに対するパソコン本体の方向を変える
- ・パソコン本体をテレビ、ラジオから離す
- ・テレビ、ラジオのコンセントとは別のコンセントを使う
- ・コンセントと機器の電源プラグとの間に市販のフィルタを入れる
- ・受信機に屋外アンテナを使う
- ・平衡フィーダを同軸ケーブルに替える

● 休止状態にならない



休止状態にならない



ドライブ C が圧縮されている ()

圧縮を解凍してください。



休止状態に対応していない周辺機器 (PC カードなど) を取り付けている

休止状態に対応していない周辺機器を取りはずしてください。

☞ 「周辺機器の取りはずし」 ☞ 「4章 ハードウェアについて」



スタートアップに休止状態の妨げになるアプリケーションが登録されている

スタートアップからアプリケーションの登録をはずし、Windows を再起動してください。

手順は「Q. 自動的にプログラムが実行される」をご覧ください。



休止状態用のファイルが壊れている ()

次の手順でファイルを作成し直してください。

- ① [スタート] - [Windows の終了] - [MS-DOS モードで再起動する] をクリックする
- ②

H	A	L	L	O	C
---	---	---	---	---	---

 Space

/	C
---	---

 Enter と入力する
- ③

E	X	I	T
---	---	---	---

 Enter と入力する



スタンバイ状態になってしまう



休止状態が有効になっていない

次の手順で設定を変更してください。

- ① [コントロールパネル] を開き、[東芝省電力] をダブルクリックする
- ② [休止状態] タブで [休止状態をサポートする] をチェックし、[適用] ボタンをクリックする
- ③ [電源設定] タブで設定する省電力モードを選択し、[詳細] ボタンをクリックする
- ④ [動作] タブのそれぞれのメニューから [休止状態] を選択する
- ⑤ [OK] ボタンをクリックする

● パソコンの動作がおかしい

 バッテリーパックは充電したのに、すぐ Main Battery  LED がオレンジ色に点滅する

 バッテリーパックの充電機能が低下している
別売りのバッテリーパックと交換してください。

 使用中に処理が遅くなる

 CPU の温度が上がった
CPU は高温になると、自動的に処理速度を下げます。しばらく作業を中止すると、CPU の温度が下がり、自動的に処理速度が元に戻ります。

 使用中に操作できなくなった

 電源スイッチを押す
電源スイッチを 5 秒以上押し続けると電源が強制切断されます。再度電源スイッチを押すと、メモリテストから開始されます。

 リセットスイッチを押す
リセットスイッチを押すと電源が強制切断されます。

 電源を切り、**BackSpace** キーを押しながら電源スイッチを押す ()

BackSpace キーは [ハイパーネーションエラー] が表示されるまで押し続けてください。メモリテストから開始されます。

 AC アダプタとバッテリーを取りはずした後、再起動する

- ① AC アダプタと電源コードをはずしてから、バッテリーをはずす
電源が OFF になります。
- ② バッテリーを取り付けてから、AC アダプタを取り付ける
- ③ 再度電源スイッチを押す
メモリテストから開始されます。

内蔵時計が合っていない

[日付と時刻] 画面で修正する

次の手順で行なってください。

- ① [コントロールパネル] を開き、[日付と時刻] をダブルクリックする
- ② [時刻] に表示されている、デジタル時計の数字の部分をクリックする
「時：分：秒」で項目が分かれているので、変更したい部分をクリックしてください。
- ③ デジタル時計右端の上下のボタンで、時刻の修正を行う
- ④ [適用] または [更新] ボタンをクリックする
- ⑤ [OK] ボタンをクリックする

時計用バッテリーが充電されていない

パソコン本体に AC アダプタを接続して、しばらく時計用バッテリーを充電してください。

時計用バッテリーの充電機能が低下している

お近くの保守サービスにご連絡ください。

充電したはずのバッテリーパックを使用しても、Main Battery LED がオレンジ色に点灯し、バッテリーがフル充電状態を示さない

長時間バッテリーパックを使用していなかった場合、新しいバッテリーパックと交換して充電する

それでも状態が変わらない場合は、故障していると考えられます。お近くの保守サービスにご連絡ください。

● その他調子がおかしい



調子がおかしい



応答しないアプリケーションを強制終了する

手順は、「アプリケーションが使えない Q. アプリケーションが操作できなくなった」をご覧ください。

アプリケーションを終了しても調子がおかしい場合は、次の操作を行なってください。



強制終了し、再起動する

強制終了の方法は、次の通りです。この場合、保存していないデータは消去されます。

98

- ① **[Ctrl] + [Alt] + [Del]** キーを押す
[プログラムの強制終了] 画面が表示されます。
- ② [シャットダウン] ボタンをクリックする
アキュポイントIIやマウスが動かない場合は、**[Alt] + [S]** キーを押してください。
プログラムを強制終了し、電源が切れます。
- ③ 電源スイッチを押して、パソコンの電源を入れる

2000 NT

- ① **[Ctrl] + [Alt] + [Del]** キーを押す
[Windowsのセキュリティ] 画面が表示されます。
- ② **[Alt] + [S]** キーを押す
- ③ [シャットダウン] を選択し、[OK] ボタンをクリックする
プログラムを強制終了し、電源が切れます。
- ④ パソコンの電源を入れる



ウィルスに感染している

ウィルスチェックソフトでウィルスチェックを行い、ウィルスが発見された場合は駆除してください。

● 不明なメッセージが出た！

ご使用のシステムやアプリケーションソフトの説明書をご覧になってわからない場合、次の点をご確認ください。

「Password =」と表示された

パスワードが設定されている

設定したパスワードを入力し、**Enter** キーを押してください。パスワードを忘れた場合は、キーフロッピーディスクを使用してください。

キーフロッピーディスクがない場合は、お使いの機種をご確認後、お近くの保守サービスにご連絡ください。有償にてパスワードを解除いたします。またそのとき、身分証明書（お客様ご自身を確認できる物）の提示が必要となります。

「入力されたパスワードが間違っています」と表示された

大文字ロックの状態パスワードを入力した

Shift + **CapsLock 英数** キーを押して大文字ロックの状態を解除し、再度入力してください。

「WARNING:CAN'T RESTORE HIBERNATED STATE. PRESS ANY KEY TO CONTINUE」と表示された

休止状態が無効になったというメッセージです。

電源を切る前の状態は再現できません。どれかキーを押してください。

使用中突然「このプログラムは不正な処理を行ったので…」というメッセージが表示された

ソフトウェアの内部処理がうまくいかなかった

画面の指示に従い、**閉じる** ボタンをクリックし、パソコンを再起動してください。



次のようなメッセージが表示された

- ・ [Insert system disk in drive. Press any key when ready]
- ・ [Non-System disk or disk error Replace and press any key when ready]
- ・ [Invalid system disk Replace the disk, and then press any key]
- ・ [Boot: Couldn't Find NTLDR Please Insert another disk]
- ・ [Disk I/O error Replace the disk, and then press any key]
- ・ [Cannot load DOS press key to retry]



フロッピーディスクドライブからフロッピーディスクを取り出し、何かキーを押す



システムディスクをセットし、何かキーを押す



「Boot sequence is changed.」と表示された



システム起動順番を変更したというメッセージです。しばらくお待ちください。



C:¥WINDOWS >や C:¥ と表示された



MS-DOS プロンプトが全画面表示されている

次の操作を行なってください。

■ 方法 1—MS-DOS プロンプト画面をウィンドウ表示に切り替える

① [Alt] + [Enter] キーを押す

■ 方法 2—MS-DOS プロンプト画面を終了する

① [E][X][I][T] とキーを押す

② [Enter] キーを押す

 「KBC ERROR」と表示された

PS/2 マウス、および PS/2 キーボードが接続されている場合は、パソコン本体の電源を一度切り、取りはずしてから再起動する

それでも同じエラーが表示されるようであれば、本体の故障のおそれがあります。お近くの保守サービスにご連絡ください。

 上記以外のメッセージが表示された

ご使用のシステムやアプリケーションの説明書をご覧ください。

● 異常や故障の場合

 異常な臭いや過熱に気づいた！

電源を切り、AC アダプタと電源コードを取りはずす
お近くの保守サービスにご連絡ください。

なお、ご連絡の際には次のことをお知らせください。

- ・ 使用している機器の名称
- ・ ご購入年月日
- ・ 現在の状態（できるだけ詳しくご連絡ください）

操作できない原因がどうしてもわからない場合は、東芝 PC ダイアルにご連絡ください。

ご連絡の際には次のことをお知らせください。

- ・ 使用している機器の名称
- ・ ご購入年月日
- ・ 現在の状態

● 東芝 PC サービス・サポートのご案内

東芝パソコンをより快適にお使いいただくために、サポート窓口、サービス制度をご用意しております。本製品に同梱の『東芝 PC サービス・サポートのご案内』をご覧ください。

付録

1	スーパーバイザパスワード	218
2	製品仕様	221
3	各インタフェースの仕様	225

1 スーパーバイザパスワード

本製品では、電源を入れたとき、スタンバイ状態（）／サスペンド状態（）やインスタントセキュリティ状態から復帰するときに入力をするパスワードを設定できます。

パスワードには、ユーザパスワードとスーパーバイザパスワードがあります。通常はユーザパスワードを登録してください。

☞ ユーザパスワード ☞ 「5章 2 東芝HWセットアップ」

本節では、スーパーバイザパスワードについて説明します。



メモ

- ・パスワードは、スーパーバイザパスワードとユーザパスワードでは、違うものを使用してください。
- ・パスワードを登録／削除した後、電源を切る前にリセットスイッチを押すと、設定した内容が無効になります。

● パスワードとして使用できる文字

パスワードに使用できる文字は次のとおりです。

パスワードは「****（アスタリスク）」で表示されますので画面で確認できません。よく確認してから入力してください。

使用できる文字	アルファベット（半角）	A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z
	数字（半角）	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
	記号（単独のキーで入力できる文字の一部）	- ^ @ [] ; : , . / （スペース）
使用できない文字	・ 全角文字（2バイト文字） ・ 日本語入力システムの起動が必要な文字 【例】 漢字、カタカナ、ひらがな、日本語入力システムが供給する文字 など ・ 単独のキーで入力できない（入力するときに Shift キーなどを使用する）文字 【例】 （バーチカルライン）、&（アンド）、 ~（チルダ）など ・ ¥（エン）  キーや  キーを押すと¥が入力されます。	

● スーパーバイザパスワード設定ツール

スーパーバイザパスワードは、パソコン本体の環境設定を管理する人のために用意されています。

スーパーバイザパスワードを登録すると、スーパーバイザパスワードを知らないユーザは、セットアッププログラムの設定を変更できないようにする、などいくつかの制限を加えることができます。

この制限を加える必要がなければ、ユーザパスワードだけ登録してください。

● 起動方法

- 1 [スタート] - [ファイル名を指定して実行] をクリックする
- 2 ["C:¥Program Files¥Toshiba¥Windows Utilities¥SVPWTool¥SVPW32.exe"] と入力する
- 3 [OK] ボタンをクリックする
詳細については、「README.HTM」をご覧ください。

● README の起動方法

- 1 [スタート] - [ファイル名を指定して実行] をクリックする
- 2 ["C:¥Program Files¥Toshiba¥Windows Utilities¥SVPWTool¥README.HTM"] と入力する
- 3 [OK] ボタンをクリックする

● パスワードの入力

ユーザパスワードが設定されている場合、電源を入れると次のようになります。

- 「Password= 」と表示される
- 画面が消えた状態になる（タスクスケジューラまたはタイマ・オン機能が設定されているとき）

この場合は、次のようにするとパソコン本体が起動します。

- 1 設定したとおりにパスワードを入力し、**Enter**キーを押す
Arrow Mode  LED、Numeric Mode  LED は、パスワードを設定したときと同じ状態にしてください。



・パスワードの入力ミス を 3 回繰り返した場合は、自動的に電源が切れます。電源を入れ直してください。

● 起動時にユーザパスワードを入力した場合

インスタントセキュリティ機能または休止状態（ **98**  **2000**）を実行して電源を切った場合、再びパソコン本体を起動するには、ユーザパスワードを入力してください。



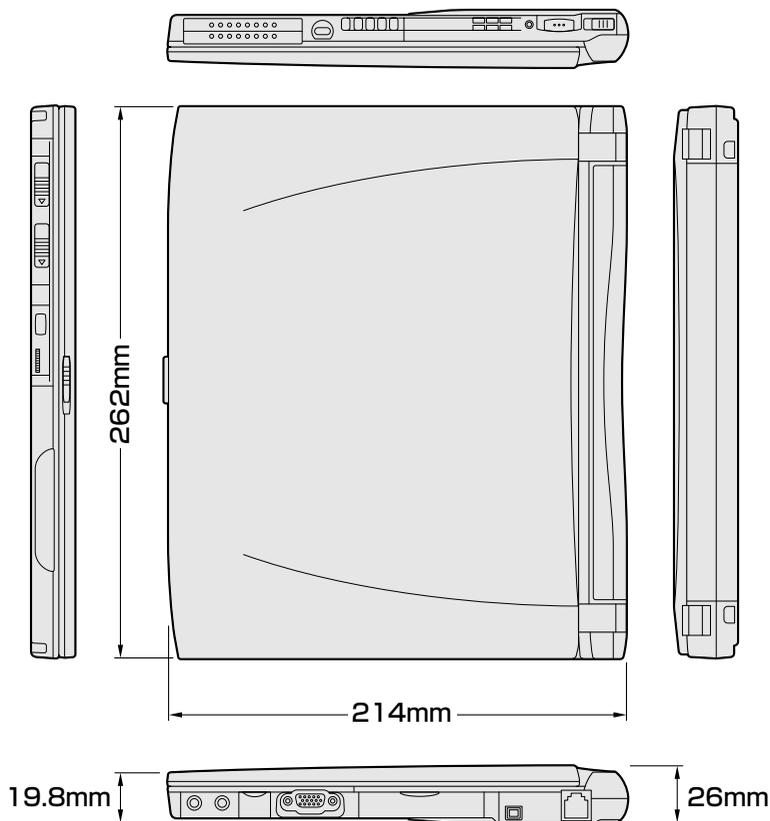
・スーパーバイザパスワードでユーザパスワードからの起動による制限事項を設定している場合、ユーザパスワードで起動すると制限を受けます。

● 起動時にスーパーバイザパスワードを入力した場合

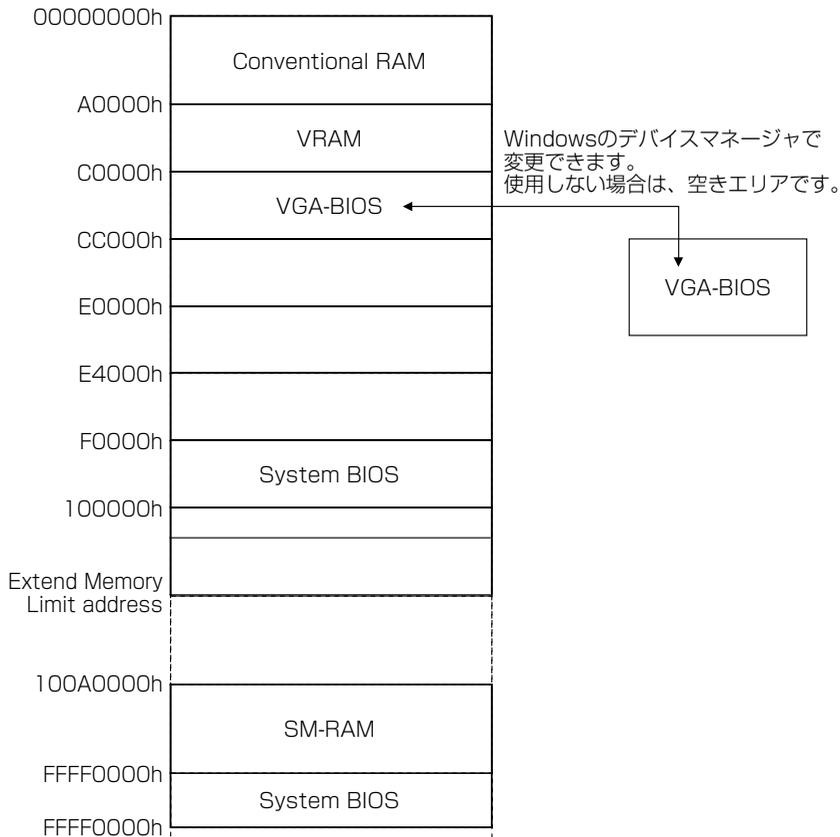
インスタントセキュリティ機能または休止状態（ **98**  **2000**）を実行して電源を切った場合、再びパソコン本体を起動するにはスーパーバイザパスワードを入力してください。ユーザパスワードの入力は受け付けません。

2 製品仕様

1 外形寸法図



② メモリマップ



3 I/O ポートマップ

000h	
020h	DMAコントローラ #1
040h	IRQコントローラ #1
060h	タイマ
070h	KBC
	NMIマスキレジスタ
	RTC
080h	
0A0h	DMAペー ジレジスタ
0C0h	IRQコントローラ #2
0F0h	DMAコントローラ #2
170h	(NDP)
178h	
1F0h	
1F8h	HDC
200h	
220h	
230h	
240h	
250h	
278h	プリンタポート #2
2E8h	シリアルポート #4
2F0h	
2F8h	
300h	
376h	サウンド
378h	
380h	プリンタポート #1
3B0h	サウンド
3BCh	VGA
3C0h	プリンタポート #3
3E0h	VGA
3E0h	東芝PCカード インタフェースコントローラ
3E8h	シリアルポート #3
3F0h	
3F8h	シリアルポート #1
400h	
530h	サウンド (WSS)
548h	
678h	プリンタポート #2
67Bh	
778h	プリンタポート #1
77Bh	
7BCh	プリンタポート #3
7BFh	
E80h	サウンド
E88h	
F40h	サウンド
F48h	

サウンド (切り替え)

④ DMA 使用リソース

DMA	
0	サウンド
1	サウンド、プリンタ
2	プリンタ
3	サウンド、プリンタ
4	Cascade for CTLR1
5	
6	
7	

⑤ IRQ 使用リソース

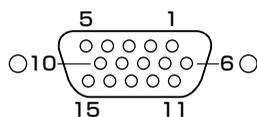
IRQ		PIT
0	タイマ (PIT)	#1
1	キーボード (KBC)	
2	IRQ8~15 PIT #2入力	
3	COM2、COM4、PCカード	
4	COM1、COM3、PCカード	
5	PCカード、COM3、COM4、プリンタポート#2	
6		
7	プリンタポート#1、PCカード、COM3、COM4、 プリンタポート#3	#2
8	RTC	
9	ACPI	
10	PCカード	
11	PCIバス (サウンド、PCカード、USB、VGA、赤外線)	
12	マウス	
13	NDP	
14	HDC	
15	CD-ROM/DVD-ROM	

3 各インタフェースの仕様

RGB インタフェース

ピン番号	信号名	意味	信号方向
1	CRV	赤色ビデオ信号	0
2	CGV	緑色ビデオ信号	0
3	CBV	青色ビデオ信号	0
4	ID2	モニタID2	
5	GND	信号グランド	
6	GND	信号グランド	
7	GND	信号グランド	
8	GND	信号グランド	
9	Reserved	予約	
10	GND	信号グランド	
11	ID0	モニタID	
12	SDA	SDA通信信号	I/O
13	-CHSYNC	水平同期信号	0
14	-CVSYNC	垂直同期信号	0
15	SCL	SCLデータクロック信号	I/O

コネクタ図



高密度D-SUB 3列15ピンメス

信号名 : -がついているのは、負論理の信号です。

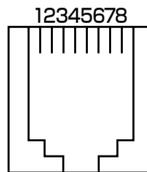
信号方向 (I) : パソコン本体への入力

信号方向 (O) : パソコン本体からの出力

● LAN インタフェース

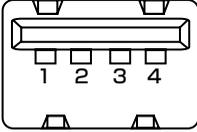
ピン番号	信号名	意味	信号方向
1	TX	送信データ (+)	0
2	-TX	送信データ (-)	0
3	RX	受信データ (+)	1
4	Unused	未使用	
5	Unused	未使用	
6	-RX	受信データ (-)	1
7	Unused	未使用	
8	Unused	未使用	

コネクタ図



信号名 : -がついているのは、負論理の信号です。
信号方向 (1) : パソコン本体への入力
信号方向 (0) : パソコン本体からの出力

● USB インタフェース

ピン番号	信号名	意味	信号方向
1	VCC	+5V	
2	-Data	マイナスデータ	I/O
3	+Data	プラスデータ	I/O
4	GND	信号グラウンド	
コネクタ図			
			

信号名 : -がついているのは、負論理の信号です。

信号方向 (1) : パソコン本体への入力

信号方向 (0) : パソコン本体からの出力



さくいん

記号	E
キーを使った	Enter キー 33
ショートカットキー 38	Esc キー 32
A	F
AC アダプタ 22	Fn キー 33
AC アダプタの取り扱い 25	G
Alt キー 32	General タブ 152
Application CD-ROM 162	H
Arrow Mode LED 20	Hardware Alarm タブ 158
B	I
BackSpace キー 33	I/O アダプタ 107
Boot Priority タブ 156	Ins キー 33
C	K
Caps Lock LED 20	Keyboard タブ 157
CapsLock 英数キー 32	L
CD の取り扱い 16	LAN ケーブルの接続 121
CPU タブ 155	LAN コネクタ 21, 121
CRT ディスプレイの	LAN タブ 158
取り付け 133	M
CRT ディスプレイの	Main Battery LED 20, 30
取りはずし 133	N
Ctrl キー 32	Numeric Mode LED 20
D	P
DC IN LED 20, 27	Parallel/Printer タブ 154
Del キー 33	Password タブ 153
Device Config タブ 154	
Disk LED 20	
Display タブ 155	

Pause キー	33
PC カードスロット 0	23, 112
PC カードスロット 1	23, 112
PC カードの取り付け	114
PC カードの取りはずし	115
PC カードリリースレバー 0	23, 112
PC カードリリースレバー 1	23, 112
Pointing Devices タブ	155
Power LED	20, 27
Product Recovery CD-ROM	161

R

RGB コネクタ	23
----------------	----

S

Service Pack6a の インストール	131
Shift キー	32, 33
Space キー	32

T

Tab キー	32
--------------	----

U

USB 機器の取り付け	132
USB 機器の取りはずし	132
USB コネクタ	23
USB タブ	157

W

Win キー	32
--------------	----

ア

アキュポイント II	15, 20, 31
アプリケーション&ドライバ CD-ROM	161
アプリケーション CD	162
アプリケーションキー	33

エ

液晶ディスプレイの取り扱い	14
---------------------	----

オ

オーバーレイキー	33
音量を調整する	41

カ

書き込み可能状態	119
書き込み禁止状態	119
拡張機器の取り付け	110
拡張機器の取りはずし	111
拡張コネクタ	23
カスタム・リカバリ CD	161
カタカナひらがなキー	33
画面の手入れ	14
漢字変換	40

キ

キーシフトインジケータ	20
キーボードの取り扱い	14
吸気孔	20
休止状態	76

ク

クリック	31
------------	----

ケ	セ
ケーブルの接続 106	セットアップ (Windows NT) 66
コ	前候補 変換キー 33
コントロールボタン 20, 31	ソ
コンパクトディスクの 取り扱い 16	増設メモリスロット 24
サ	増設メモリの取り付け 137
再セットアップ 160	増設メモリの取りはずし 138
サイドライト用 FL 管 14	タ
サスペンド機能 76	大容量バッテリー 99
シ	大容量バッテリー LED 20, 30
システムインジケータ 20	大容量バッテリーアダプタ 99
システムスピーカ 43	大容量バッテリー接続コネクタ 21
シャットダウン 76	大容量バッテリーの取り付け 101
省電力ユーティリティ 148	大容量バッテリーの取りはずし .. 103
消耗品 16	大容量バッテリーパック 99
ス	大容量バッテリーパックの 取り付け 100
スーパーバイザパスワード 218	大容量バッテリーパックの 取りはずし 100
スクロール 31	ダブルクリック 31
スクロールボタン 20, 31	テ
スタンバイ機能 76	データのバックアップ 18
スピーカ 20	ディスプレイ 20
セ	ディスプレイ開閉ラッチ ... 20, 26
赤外線ポート 20	電源オフ 76
セキュリティロックスロット 20	電源コード 22
セットアップ	電源コードの取り扱い 14, 25
(Windows 2000) 57	電源コネクタ 21
セットアップ	電源スイッチ 20, 46
(Windows 98) 50	電源スイッチロック 20, 46
	電源に接続する 25
	電源を供給する 25

ト		バッテリーパックの取りはずし ／取り付け 97
東芝HWセットアップ 152		バッテリー・リリースラッチ 21
東芝省電力ユーティリティ 142		半/全キー 32
特殊機能キー 39		
時計用バッテリー 94		ヒ
ドラッグアンドドロップ 31		表示方法の切り替え 133
ナ		フ
内蔵マイク 20		ファンクションキー 32
ニ		フロッピーディスクから 起動する 120
日本語入力システム 39		フロッピーディスクドライブ 118
入力モード 40		フロッピーディスクドライブの 取り扱い 18
ネ		フロッピーディスクの 取り扱い 17
ネットワーク設定 (Windows 2000) 126		
ネットワーク設定 (Windows 98) 122		へ
ネットワーク設定 (Windows NT) 128		ヘッドホン出力端子 21
ハ		ホ
排気孔 20		ホットインサージョン 113
パソコン本体の取り扱い 13		ボリュームコントロール 42
バッテリー駆動 28, 92		ボリュームダイヤル 20, 41
バッテリー駆動での使用時間 95		マ
バッテリー充電量が 減少したとき 95		マイク入力端子 21
バッテリー充電量の確認 92		マルチメディアポート リプリケータ 109
バッテリーの充電時間 29		
バッテリーの充電方法 28		ミ
バッテリーパック 21		ミニI/Oアダプタ 108
バッテリーパックの交換 96		

モ

文字キー	34
持ち運ぶとき	15

ヤ

矢印キー	33
------------	----

ユ

ユーザ登録	74
ユーザパスワードの削除	154
ユーザパスワードの設定	153

ラ

ライトプロテクトタブ	118
------------------	-----

リ

リカバリ	160
リカバリ CD	162
リセットスイッチ	20
リリース情報	1